っと読んでみませんか(今和三年お盆)

りょうぜんじょうど

第 5 9 話 この世の霊 山浄土

> ~本源寺副住職 本間 健司

すが、どうかご先祖様への供養感謝の想い 緊急事態宣言下での東京オリンピック開催と、コロナ禍のなかの2回目のお盆を迎えます。 は心の中にきちんと持ち続けて頂きたいです。 何かと落ち着かないお盆になりそうで

聖語と共にその解説文も載せられています。うのは、日蓮聖人が手紙や文章のなかで説かれている言葉や教えの事で、月日蓮宗から配布される『今月の聖語(せいご)』を掲示しています。聖語さて、本源寺の境内にある墓地の入口には、掲示板が設置されていて、 事で、掲示板には、。聖語(せいご)とい そこには、

本年七月の 『今月の聖語』は、こちらです。

霊山浄土にてはりようぜんじょうど かならず ゆきあいたてまつるべし

(霊山浄土では 必ず あなたと再会できることでしょう)

日蓮聖人御遺文『是日尼御書』 ぜ にちあまごしょ

【解説文】(抜粋)

霊山の契りー

うに新たな舞台が始まると信じるかでは、今の生き方が大きく変わってくる でしょうか 今生ですべてが終わってしまうと思うのか。それとも、人生の幕は降りてもその向こ のでは

「生き方が逝き方」という言葉がふと心に浮かびました。

とに給仕に上がったことへ 本書は、 佐渡在住の信者である是日尼(ぜにちあま)に対して、 の礼状。 夫が身延の日蓮聖人の ŧ

活動をされていました。身延に入られた聖人は、 ま せ この時期体調を大きく崩しつつも弟子信徒に対し精力的に教化 かし 一方ではご自身の死期も脳裏をかすめ ておら *1 た \mathcal{O} かも

7 あの 世 す なわち霊山浄土にお ι, ても弟子信徒との変わらぬ契りを結んでおられ たの

としての この解説文にあるように、 『霊山浄土(りょうぜんじょうど)』のことを何度も説かれています。 日蓮聖人はご文章のなかで、「あの世」つまり、死後の世界,

よって導かれた人たちの魂が目指す「あの世」にあるのですが、 **つしょうあんこく**)」といいます。 「この世」に実現することこそが、 **『霊山浄土(りょうぜんじょうど)』**というのは、法華経・御題目=南無妙法蓮華経に 日蓮聖人の本意でありました。 実は、この霊山浄土を それを、

なかなか想像ができない。そこで聖人は、死後に「あの世」にある霊山浄土で必ず逢え ることを約束しながら、「この世」で信行実践し功徳を積むことを勧めたわけです。 普通の信者さんには、中世の混乱続きの世の中が 「浄土」になることなど、

究は世界中で行われ、科学的見地からも解明が進んでいます。さて、日蓮聖人の時代から7百年以上経った現代においては、 「あの世」 に 0 7) \mathcal{O}

ることが明らかになってきています。 そして、「あの世の私たち」と「この世の私たち」が途切れずに一本の糸でつながってい 重なっていることに驚かされます。 ある書物には次のようにあります。 それらの文章を読むと、仏教経典の内容とかなり

は、 人間の媒体(表現体)である肉体だけである。 「真の人間は恒久の存在であり、決して死ぬものではないからである。死め「人間は必ず死ぬものである」と言われるが、この言葉は当たっていない。 死ぬのは真のない。というの

ある。 発達し、光り輝いていくものである。 では 人間は決して老いるものではない。人間つまり恒久の魂は、 「人間は必ず老いるものである」という言葉はどうであろうか。 年を取れば取るほどっか。これも間違いで

真の人間は不滅の魂であり、 時が経てば経つほど進化し光り輝いていくものである。

私たちの本体である"不滅の魂"は、すでに長い長い旅路を経る中で進化し輝きを増し 当事者には、「なんて大変な時代なんだ!」と思えてしまうかも知れないけれど、実は、 コロナ禍や様々な災害・事件、そして各々身の回りの問題に囲まれ生きている私たち 偉大なる魂,でもあるのです。

蓮聖人が目指された【この世での霊山浄土実現=立正安国】も夢ではないはず。そんな"偉大なる魂"同士、お互いを尊敬し認め合える世の中になれば、いよい

態度、 彼は一人の野球選手という枠を超えて、いまメジャーリーグでは、一人の日本 そして周りを明るくする笑顔で、一人の人間として大きな尊敬を集めています。 一人の日本人 大谷翔平選手が大変な活躍をしていますが その温かい心や、他の選手スタッフを尊敬する

笑顔に包まれる雰囲気は、オールスター戦の際に、 さながら『小さな霊山浄土』のようでした。多くの選手たちが彼の周りに集い、球場全体が大きな拍手と

いと強く願います。日本人は、大谷翔平だすが妻、しいっこ、とが世界に発信してほしッフに尊敬の想い・温かい笑顔をたむけて、『日本発の霊山浄土』を世界に発信してほしが大きく注目しているからこそ、日本人一人一人の"偉大なる魂"をもって、選手スターさて、多くの困難を抱えた今回の東京オリンピック。いつもとは違った意味で世界中

合掌 南無妙法蓮華経